



音楽と映像がとても深いところで一体化して、見る人、聞く人に迫ってくるこのコンサートは、感動の力が通常のコンサートや通常の映像の鑑賞では想像できないほどの力でみなさんの心に押し寄せてきます。それが何といっても最大の見どころ、聴きどころです。その感動を、ぜひ多くのみなさんに体験していただきたいと思います。

——加古 隆



Takashi
Kako

加古 隆（作曲家・ピアニスト）

東京藝術大学・大学院作曲研究室修了後、フランス政府給費留学生としてパリ国立高等音楽院に進み、オリヴィエ・メシアンに師事。現代音楽の勉学途上、1973年のパリでフリージャズ・ピアニストとしてデビューするという特異な経歴を持つ。76年に最高位の成績で音楽院を卒業。帰国後はオーケストラや様々な分野の作品、映画音楽、ドキュメント映像の作曲も数多く、ピアニストとしての音色の美しさから「ピアノの詩人」とも評される。2016年度(第68回)日本放送協会放送文化賞を受賞。

Music by Takashi Kako



新・映像の世紀
オリジナル・サウンドトラック
AVCL-25880 定価:¥2,750(税抜¥2,500)
パリは燃えているか/神のバッサカリア/
未来世紀/愛と憎しみの果てに/
マネーは踊る/時の刻印/黒い霧/
はるかなる王宮/他 全14曲収録



**パリは燃えているか
=集成=**
AVCL-25883 定価:¥2,200(税抜¥2,000)
パリは燃えているか 全16曲収録
(新・映像の世紀[2015年放送]テーマ)
(映像の世紀[1995年放送]テーマ)
(ピアノ・ソロ Slow) / 他



新・映像の世紀
オリジナル・サウンドトラック完全版
AVCL-25886-7(2枚組)
定価:¥3,850(税抜¥3,500)
パリは燃えているか/時の刻印/
大いなるもの東方より/マネーは踊る/
シネマグラフ/他 全50曲収録

avex classics

NHKスペシャル 映像の世紀 コンサート 映像、それは人類の記憶。

映像に込められたメッセージは、時に、世界を引き裂き、底知れない憎悪を生み出しています。

しかし一方で、映像は、時空を超えて、人々をつなぎます。

映像の世紀コンサート

動く映像が誕生してから100年余り。王朝時代の貴重な映像、第一次、第二次世界大戦、ベトナム戦争、そして現代の悲劇的な出来事や、未来への希望を願う映像など、世界中のカメラマンが、命がけで撮影してきた映像の数々は、決して忘れてはならない、人類が蓄積した莫大な「記憶」です。

「映像の世紀コンサート」では、1995年から1996年にかけて放送された「映像の世紀」と、2015年から2016年にかけて放送された「新・映像の世紀」のために、世界中から収集された莫大な歴史的映像を、加古隆が作曲した名曲の数々に合わせて、コンサートで上映するために、歴史の流れに沿って再編集した特別な映像が使用されます。(2016年制作)

このコンサートでしか見ることのできない貴重な特別映像は、ステージ上に設置された大スクリーンで上映され、テレビとは比較にならない大迫力で、加古隆と大オーケストラが熱演する音楽と一緒に見て見る者の心にダイレクトに迫ってきます。

ご覧になった多くの聴衆のみなさんが『今までに経験したことのない深い感動』との感想を残さる、このコンサートならではの感動体験を、ぜひあなたも会場で一緒に分かち合ってください。



Chikara
Iwamura

岩村 力（指揮）



Sapporo
Symphony
Orchestra

札幌交響楽団

早稲田大学理工学部電子通信学科、および桐朋学園大学演奏学科を卒業。マスター・ブレイヤーズ指揮者コンクール優勝ほか数多くの国際コンクールにて入賞。これまでにハンガリー響、N響等内外のオーケストラを指揮するほか、アルゲリッチの要請によりバドヴァ室内管弦楽団と共に演し国際的に活躍。2000-07年NHK交響楽団アシスタントコンダクター。2010年より兵庫芸術文化センター管弦楽団レジデント・コンダクター。2015年、兵庫県功労者表彰(文化功労)受賞。

1961年に発足、北海道唯一のプロ・オーケストラとして「札響」の愛称で親しまれ、2021年に創立60周年を迎えた。透明感のあるサウンドとパワフルな表現力は、国内はもとより海外でも評価が高い。現在は、首席指揮者にスイス出身のマティアス・バーメルト、名誉音楽監督の尾高忠明、友情客演指揮者の広上淳一、指揮者の松本宗利音を擁する。例年の年間公演回数は約120回、そのほか小編成でのアウトリーチ活動にも積極的に取り組んでいる。

音楽：加古 隆 好評発売中